

第3回技術検討委員会における指摘事項一覧

大項目名	小項目名	指摘事項	委員会報告書の対応
ごみを安全かつ安定的に処理できる施設		コンバインドシステムの安全対策を確認とする。	<p>「ガス工作物の技術上の基準を定める省令（H19 経済産業省）」、「メンブレンガスホルダーに係るガイドライン（H18 経済産業省）」等に基づく安全対策を実施する。</p> <p>（主な対策）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガス工作物の敷地境界からの距離の確保 ・ガス工作物設置室内のガス漏洩・滞留対策設備の設置（換気設備、検知器、警報機等） ・ガス工作物付近電気設備の防爆性能の確保（防爆型モーター採用等） ・ガス工作物の安全な機械的性能の確保（外側・鋼板製、内側・樹脂製等） ・設備損傷防止・検知設備の設置（流量計、圧力計等） ・停電時対応の非常用発電機の設置 ・ガスホルダー配管等の緊急遮断装置の設置 ・水封式安全装置の凍結防止装置の設置
	事故・トラブル事例	コンバインドシステムの稼働事例が2,3年であり「◎」評価は、適切ではない。	「○」評価とする。
	連続稼働実績	コンバインドシステムについて、ストーカ方式と同様の実績で評価することは妥当ではない。	<p>連続稼働日数 148日間</p> <p>※バイオガス系統は、通年稼働（メタン発酵）している。電気設備系統点検等に伴う全炉停止時は、非常用発電機を稼働し、発酵に必要な電力を供給する。</p>
	ごみ質変動への対応	制御システムに関する記載を改める。	「制御システムが別途必要」を「制御システム上の対応が必要」に改める。
適切な環境保全対策を講じた施設		コンバインドシステムは、ガスエンジンを用いる方式と蒸気タービンを用いる方式の2種類があるため、注記が必要ではないか。	「ガスエンジン方式」であることの注釈を付記する。
	公害防止性能	絶対評価であり、評価基準もセットで掲載すべき。	評価基準も記載する。

大項目名	小項目名	指摘事項	委員会報告書の対応
資源の循環とごみのもつエネルギーの有効利用に優れた施設	物質回収量	評価の着目点が誤解をまねく。	「メタル、スラグ等の物質循環が図られる回収量は、どの程度か」に変更する。
経済的に優れた施設		灰資源化については、20年間の全量資源化が前提条件となっていることに留意する必要がある。	処理方式選定の附帯意見として検討する。